

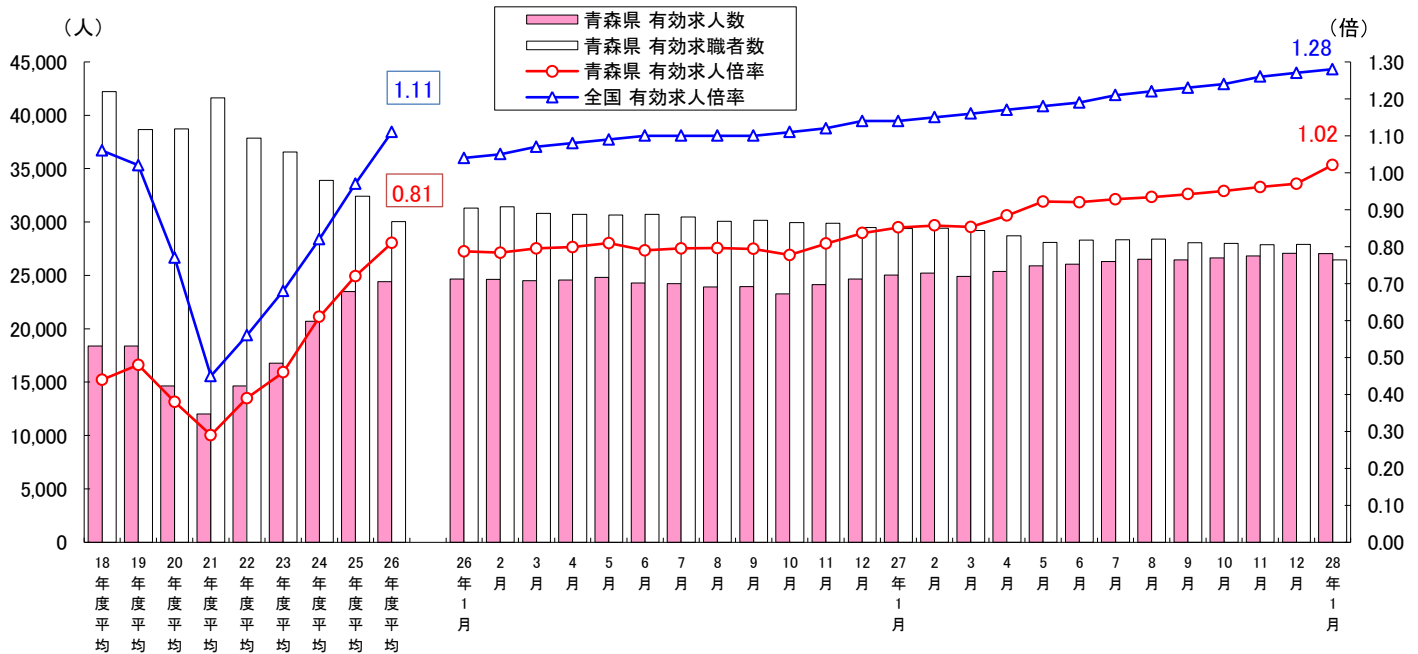
# 最近の雇用情勢について

(平成28年1月)

青森労働局

## I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

1月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.2%減少の27,027人、有効求職者数(同)は5.2%減少の26,465人で、有効求人倍率(同)は前月より0.05ポイント増加の1.02倍となった。

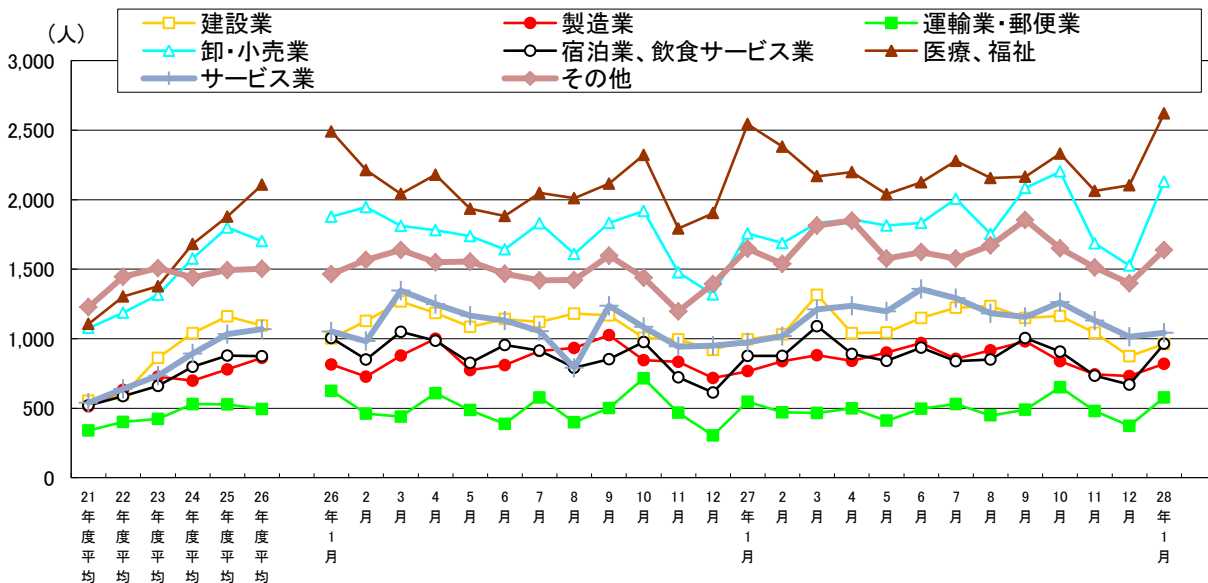


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成27年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

## II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

1月の新規求人(原数値)は前年同月比6.4%(642人)増加、前月比23.7%(2,058人)増加の10,750人。

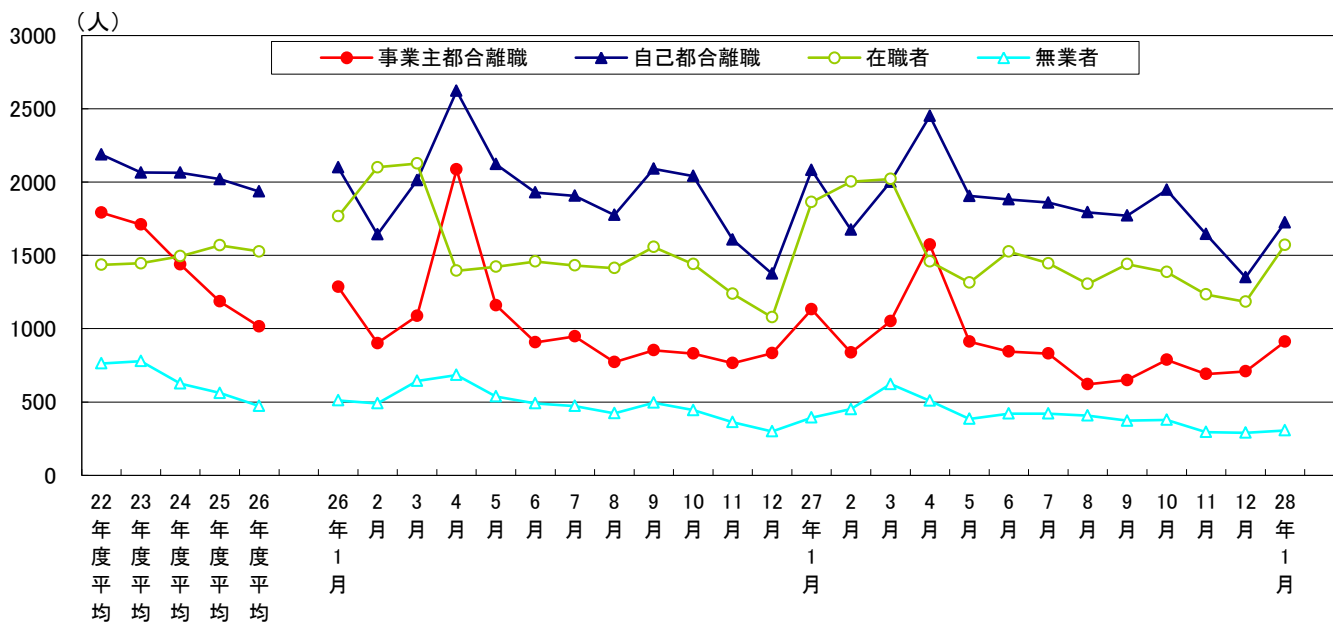
産業別に前年同月と比較すると、製造業、運輸業、郵便業、卸売業・小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、建設業等では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、金属製品製造業、業務用機械器具製造業、電気機械器具製造業等で増加し、繊維工業、木材・木製品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、輸送用機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

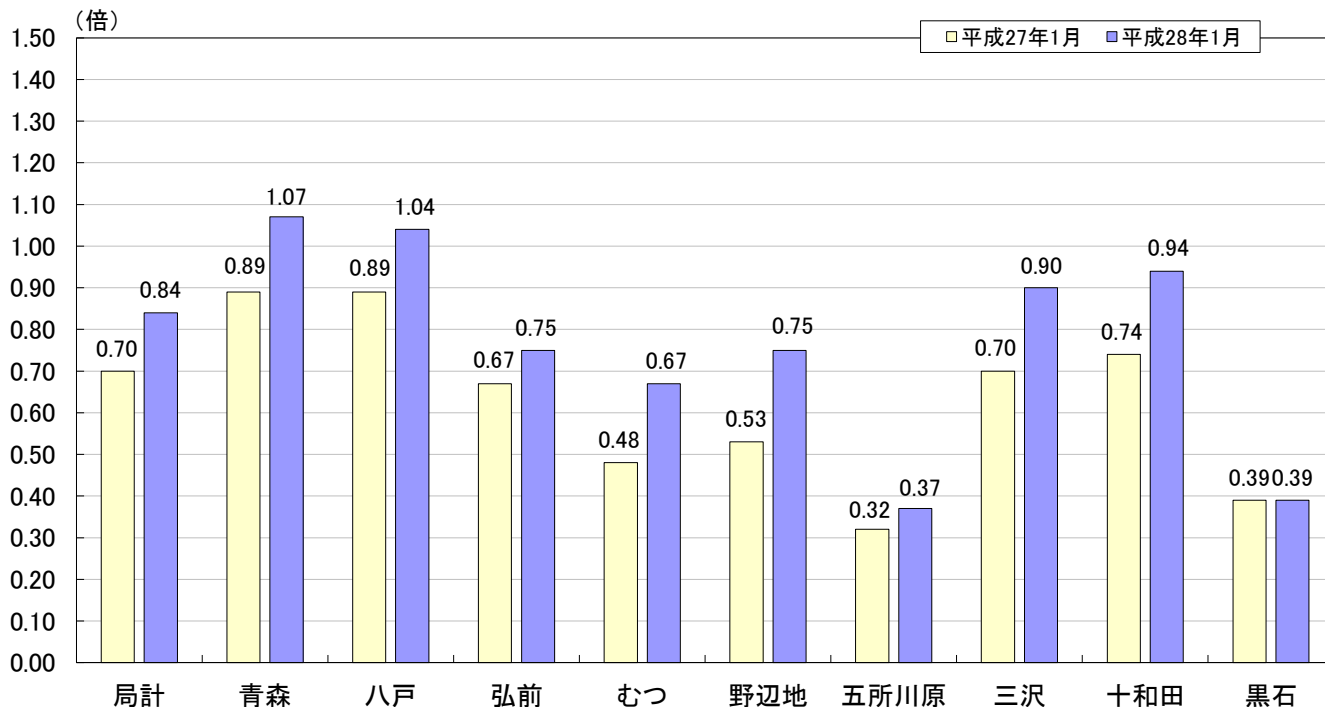
### Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

1月の新規求職者数は、前年同月比17.6% (983人)減少、前月比27.4% (993人)増加の4,612人。  
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は15.7% (293人)減少し、離職者は18.1% (603人)の減少、無業者は22.1% (87人)の減少となった。  
 離職理由でみると、事業主都合は19.5% (220人)の減少、自己都合は17.2% (359人)の減少となった。



### Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

1月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.84倍となり、前年同月を0.14ポイント上回った。  
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

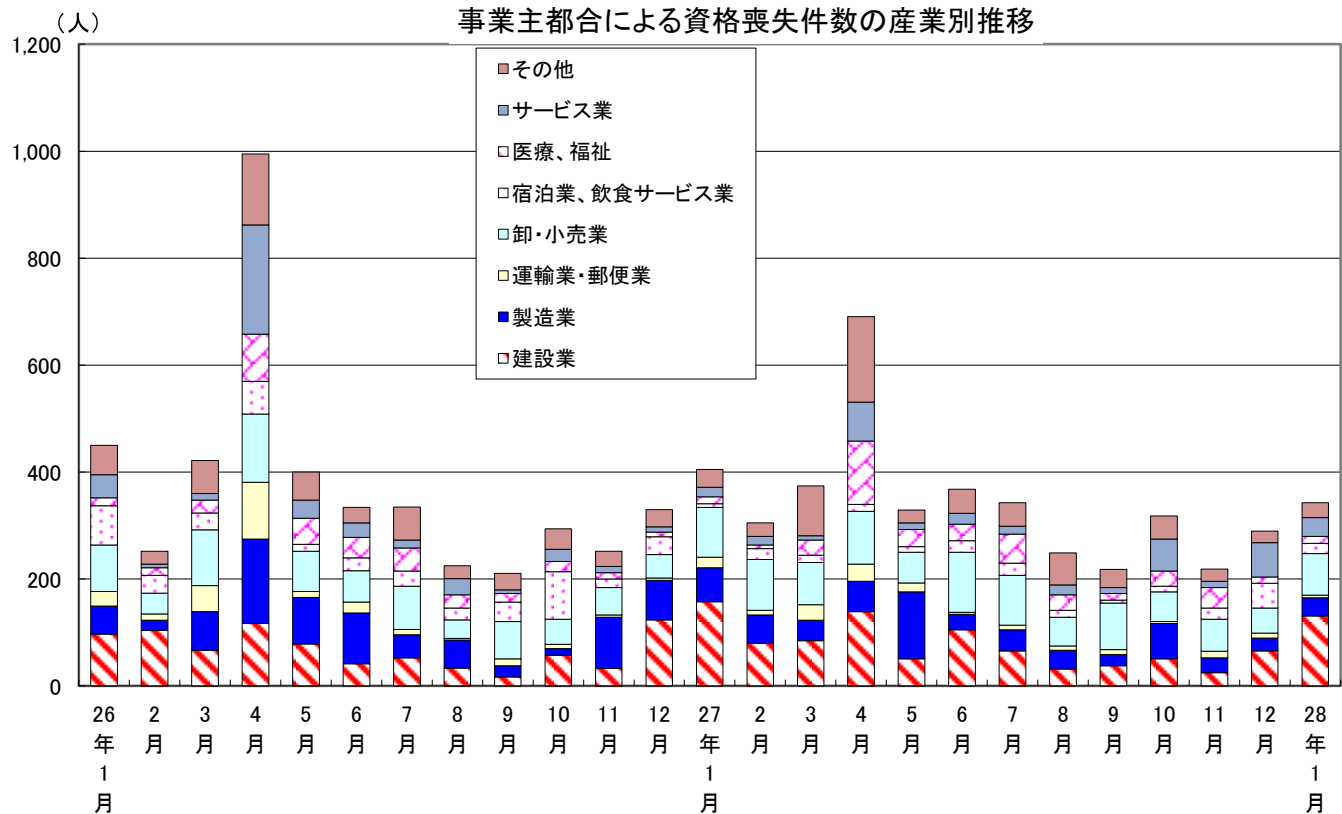
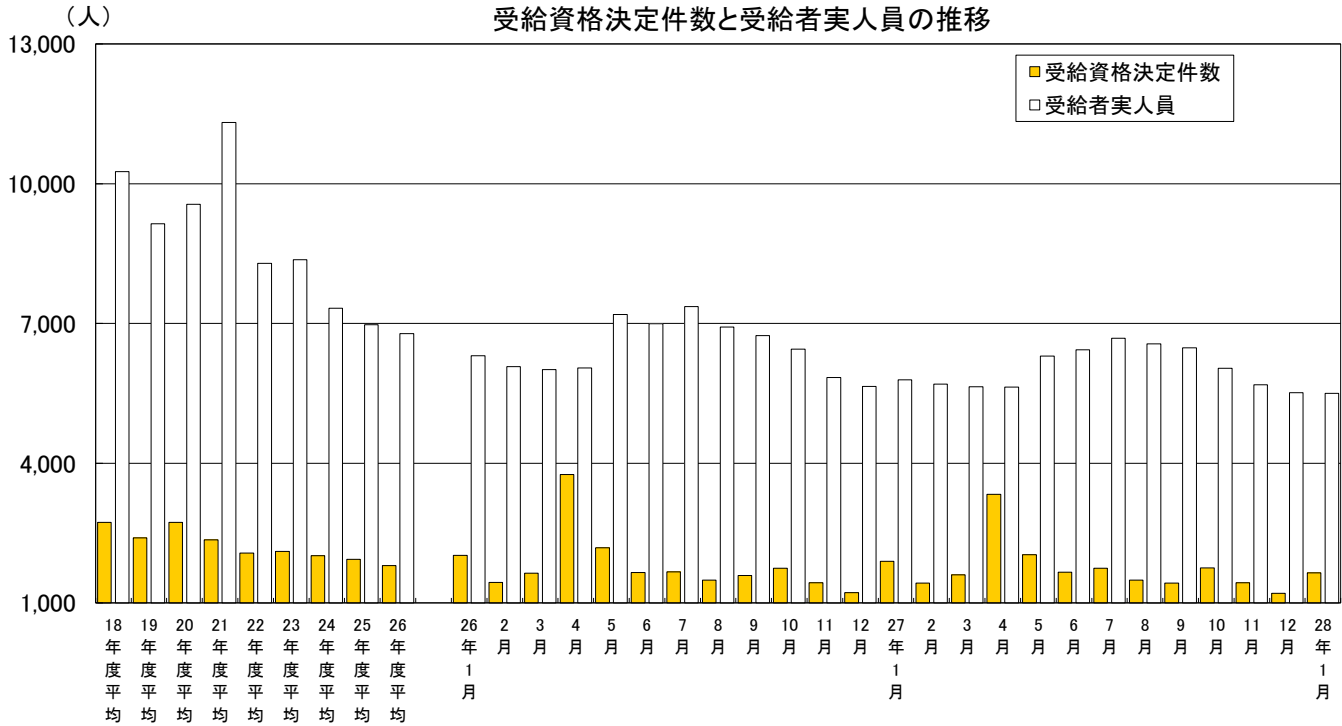


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	30,133	7,529	6,053	5,477	1,754	1,365	3,130	1,672	1,356	1,797
有効求人数	25,349	8,092	6,309	4,105	1,175	1,028	1,148	1,507	1,280	705

## V 雇用保険の状況

1月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比5.0%（290人）減少、前月比では0.2%（9人）減少の5,502人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比13.0%（247人）減少、前月比では36.8%（444件）増加の1,649件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比15.3%（62人）減少、前月比18.3%（53人）増加の343人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。  
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。